



5月末から10日間の日程で、ドイツ・デンマーク2カ国に研修視察へ行ってきました。  
ご存知の通り、ドイツはGDPで日本を抜き世界第3位の経済大国、デンマークは世界  
幸福度ランキング2位（日本は55位）で、世界高福祉国家の一つです。



ドイツは、中小企業が経済の99%を占め、経済を支える構造が日本と酷似していますが  
高い生産性や隠れたチャンピオン企業を輩出するなど、ここ数年で大きな経済成長を遂げ  
ています。

デンマークは、社会保障の充実と働き方の柔軟さ（ワークライフバランス）が、日本とは  
大きく違い、社会全体に根付いた「安心感&信頼感」が幸福度の高さの所以です。

この2カ国の企業・施設・教育機関・子育て環境を訪問させていただき、多くの気付きが  
ありました。子ども達の未来のために、今を生きる私達大人が向き合うべき課題について、  
今後の「ばんきだより」で保護者の皆さんに紹介させていただきます。

#### □◆□おうち園通信費□◆□

毎週末に配信している「おうち園」ですが、写真・  
動画等の容量に制限があるため、どこかのクラスで  
容量を超えると、他のクラスが配信できないという  
ケースがありました。そのため、昨年からシステム  
を変更させていただきまし。それに伴い、新シス  
テムは通信費が発生することから通信費を徴収させ  
ていただきます。「おうち園」は卒園後も閲覧が可  
能で、希望者にはアルバムとして保存することもで  
きます。

第一学期分の通信費として1,200円を徴収させて  
いただきます。諸費納入袋に「おうち園通信費」と  
明記され6月30日（月）までに納めて下さい。

#### △▼△園庭リニューアル△▼△

来週から園庭のリニューアル工事が始まります。天候に  
もよりますが一週間程の日程で行います。  
つぼみぐみの保護者の方は、お子さんの送迎の際に園庭  
を通らずにつぼみハウスへの送迎をお願いします。  
また、つぼみぐみ親子保育・お誕生会の際に園庭を駐車  
場として開放できませんのでご了承下さい。



#### ○○○降園時間変更のお知らせ○○○

7月4日（金）に年長児達がピーチクリーンを行います、それに伴い降園時間を変更いたします。  
バス通園のお子さんの降園時間は「30分遅れ」となります。お歩きコースのお子さんの降園時間  
の変更はありません。お間違いないようにご注意下さい。

#### 子供の居場所

多くの母親が、我が子のために手作りご飯を用意してあげたいと願います。誰に教えられたわけでもな  
いの、自然とキッチンに立ち、我が子のためにご飯を作る。その行動の奥には、母としての「愛情」と  
本能的に「守りたい」という想いがあります。

料理研究家の土井善晴氏は「料理とはうまい・へたではない！大切なのは、丁寧にご飯と味噌汁を整え  
て“今日も元気でいてくれてありがとう”という気持ちで子供にご飯を食べさせてあげること」と言って  
います。ご飯と味噌汁、それだけでも子どもは安心する。そこには何よりも「愛情」があるからです。

また、場の研究所の清水博さんは「家庭料理は子どもの居場所を作る」と言っています。居場所とは無  
条件でそこに居られる（守られる）「安心の場」です。

学校や部活から疲れて帰ってきた時、キッチンから漂う夕食の匂いに子供は言葉にならない安堵を感じ  
ます。「今日もいつもの場所がある」「自分の帰る場所がここにある」そんな“無意識に蓄積される安心感”  
が子どもの心を支えているのです。

この安心感がやがて子どもの心の「土台」となります。安心して過ごせる居場所があるから、子どもは  
新しいことに挑戦できるし、自信を持って前に進むことができるのです。やがて大人になった時、今度  
は自分が“愛情を注ぐ側”になり、家庭や社会の中で誰かを支える存在になっていきます。

「救われるということは、場を賜ること」この言葉は京都のあるお寺の言葉です。誰かに認められ、受け  
入れられ、ありのままに居られる場所がある…それが、子どもにとっての「救い」であり「力」でもあ  
るのです。

忙しい毎日の中で「ちゃんとできてないかも…」と、悩む日もあるかもしれませんが、温かい食事を用  
意してくれる存在がそばにただいて、子どもにとってはかけがいのない「居場所」になりますよ！  
一緒に食卓を囲むこと、ただ隣に座って食べること。そのひと時が我が子にとっての何よりの安心です  
ね（笑）

そんな何気ない日々の中に、お子さんの未来を支える栄養がたつぷりと詰まっているのですね（笑）

#### ♥♥♥特別な景色♥♥♥

年長児達が春の社会見学で訪れたのは「大倉山ジャンプ台」。海外からの観光客にも人気の観光スポット  
ですね（笑）片道30分のプチ登山に挑戦！頂上に着くと、眼下に広がる札幌の街並みに…「わあ～  
凄い！」「ちっちゃく見えるね！」と歓声が上がり、子ども達は感動！！汗ばむ陽気の中でしたが、  
自分の足で登った達成感と、目の前に広がる景色の美しさに特別な一日になりました（笑）  
貴重な体験をした年長児達でした！